

Laneed

Easy Network Solution Provider

PCMCIA TYPE II Ethernet PC Card

PCMCIA TYPE II 準拠 10/100Mbps対応
イーサネットPCカード

■ LD-10/100CD 10/100BASE T TX

OSごとの
導入手順フロー
4・5ページ

必ずお読み
ください

Windows98
で使う

Windows95
で使う

WindowsNT4.0
で使う

必要に応じて
お読みください

User's Manual

Ethernet Adapter

PCMCIA TYPE II 準拠
10/100Mbps対応
16bitイーサネットPCカード

LD-10/100CD

10/100BASE T TX

User's Manual

ユーザーズマニュアル

ご注意

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万が一不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートは行っておりません。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきました。

■ ■ はじめに ■ ■

この度は、弊社ラニード製品PCMCIA TYPE II 準拠10/100Mbps対応16bitイーサネットPCカード"LD-10/100CD"をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、"LD-10/100CD"をコンピュータ本体に導入するにあたって手順が説明されています。また、お客様が安全に"LD-10/100CD"を扱っていただくための注意事項が記載されています。コンピュータ本体への取り付け作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業を行って製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警告

-  小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業を行わないでください。また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。けがや感電、部品を飲み込んだりする危険性があります。
-  本製品の取り付け、取りはずしの際は、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。
-  本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。
-  本製品を取り付けたコンピュータ本体から煙やへんな臭いがしたときは、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
-  本製品を取り付けたコンピュータ本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
-  本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。

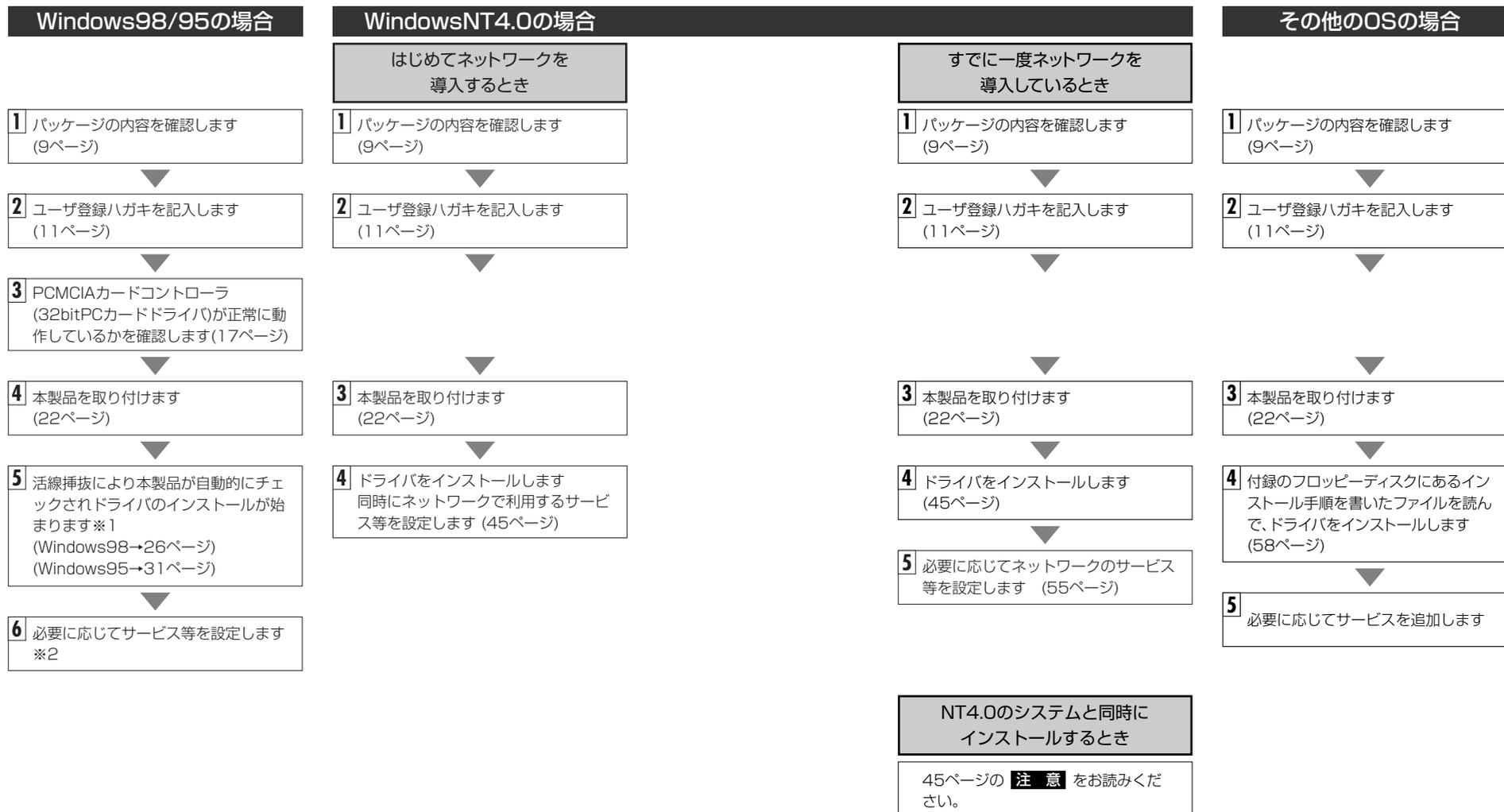
注意

-  本製品の取り付け、取りはずしの際は慎重に作業を行ってください。強引な着脱は、機器の故障や、けがの原因になります。
-  本製品の取り付け、取りはずしの際は、本製品に触れる前に金属性のもの(スチールデスク、ドアのノブなど)に手を触れて、静電気を除去してから作業を行ってください。静電気は本製品の破損の原因になります。
-  本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。
 - ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
 - ・直射日光のあたるところ
 - ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
 - ・静電気の発生するところ、火気の周辺
-  長期間、本製品を取り付けたコンピュータ本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。また、バッテリーもはずしておいてください。

本製品は第一種情報装置(商工業地域で使用される情報装置)で、商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)に適合しています。したがって、住宅地またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受像機等に受信障害を与えることがあります。このマニュアルの説明にしたがって正しくお取り扱いください。

OSごとの導入手順フロー

おもなOSにおける本製品の導入手順をフローで説明します。



※1 プラグ&プレイでもドライバディスクやWindows98/95のディスクを挿入する作業が必要なことがあります。

※2 このマニュアルの39ページからWindows98/95のピア・ツー・ピアによるネットワークの設定例を説明しています。参考にしてください。

このマニュアルの表記について

●用語について

本製品・・・LD-10/100CDのことを、このマニュアルでは、「本製品」と記載しています。

●記号について

記号	意味
注意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
↑ ↓	キーボード上のカーソルキーを表わします。
Enter	キーボード上のEnterキーを表わします。
スペース	キーボード上のスペースバーを表わします。
Esc A	その他、キーボード上のキーを表わします。

もくじ

はじめに	1
安全にお使いいただくために	2
OSごとの導入手順フロー	4
このマニュアルの表記について	6
もくじ	7
1. パッケージの内容を確認する	9
2. 製品の保証とユーザ登録	10
製品の保証とサービス	10
ユーザ登録について	11
3. 本製品の概要について	12
本製品の特長	12
動作環境について	13
4. 各部の名称とはたらき	14
5. 本製品を使用するにあたっての注意事項	15
6. Windows98/95で使うときは[セットアップの前に]	17
PCMCIAコントローラ(32ビットカードドライバ)を確認する	17
PCMCIAコントローラが正常に表示されないとき	20
7. コンピュータ本体への取り付けと取りはずし	22
取り付けの方法	22
取りはずしの方法	23
8. Windows98でのセットアップ	26
9. Windows95でのセットアップ	31
10. Windows98/95でのピア・ツー・ピア環境の設定例	39
11. WindowsNT4.0でのセットアップ	45
12. その他のOSへのドライバのインストール	58

13. アダプタのプロパティ.....60
 Windows98/95の場合60
 WindowsNT4.0の場合61

14. 16bitドライバの導入.....62
 カードサービスとソケットサービスについて62

15. テストプログラムによるチェック.....65

付録 こんなときは.....69

サポートサービスについて.....72

基本仕様.....74

1

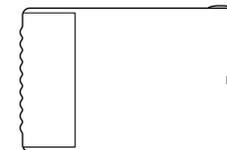
パッケージの内容を確認する

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一、不足品や破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店が弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

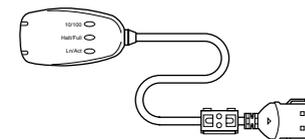
- イーサネットPCカード "LD-10/100CD" 1枚
PCMCIA TYPE II 準拠です。



- 保護ケース 1個
カードを使用しないときは、このケースに入れて保管してください。



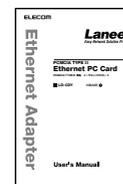
- メディアカブラ 1個
イーサネットカードと10BASE-Tケーブルまたは100BASE-TXをつなぐためのカブラです。



- ドライバディスク 各1枚
・PC/AT互換機(DOS/Vマシン)
およびNEC PC98-NX用 1枚
・NEC PC-9800(9821)シリーズ用 1枚



- ユーザーズマニュアル
このマニュアルです。導入後も大切に保管してください。



- ユーザ登録カード
本製品の導入前に記入し、すみやかにご返送ください。



- 保証書
このマニュアルと合わせて大切に保管してください。



製品の保証とサービス

本製品には、保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じた、いかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

●修理の依頼

保証期間中に故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えて、下記修理センターにご依頼ください。

エレコム修理センター

〒192-0304 東京都八王子市子安町4-19
セキエレクトロニクス(株)内 エレコム修理センター
電話番号 0489-61-1687
電話受付 月曜日～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
(ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日を除く)

ユーザ登録について

パッケージの内容が確認できたら、作業をはじめる前に、ユーザ登録カードに必要なことをご記入の上、ご投函ください。

郵便はがき
現金受取人証 170-8765
〒6077 東京都豊島区東池袋3-13-2
住友不動産東池袋ビル
Laneed サポートセンター行
ユーザ登録カード

●氏名 姓 名
●電話番号
●〒 区 市 町 番 号
●所属会社
●印刷番号

番号を控えておきます。
品番 S/N

会社名、住所などを記入します。
※裏面のアンケートにもお答えください。
ご意見は、今後の製品開発などに役立てていきます。

※裏面のアンケートにご協力をお願いします。

本製品に関して、ご質問がある場合は、ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3444-5571 FAX : 03-3444-8205

受付時間：月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)
※FAXによる受信は24時間行っております。

●インターネット：<http://www.elecom-laneed.com>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。
ガイドランスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東京：03-3940-6000 大阪：06-455-6000 名古屋：052-453-6000
福岡：092-482-6000 札幌：011-210-6000 仙台：022-268-6000
広島：082-223-6000

本製品の特長や動作環境などを説明します。

本製品の特長

●100Mbpsにも対応、モバイルの活躍を広げるPCカードタイプのイーサネットカード

PCMCIA TYPE II 準拠でPCカードスロットに差し込んで使えるイーサネットカードなので、出先でモバイルコンピュータをネットワークに接続、大容量のデータも簡単にやり取りできます。さらに100Mbps環境対応のイーサネットだからフロッピーや赤外線通信とは比べものにならない圧倒的に高速なデータ転送が可能です。本製品を使えば出先でもモバイルコンピュータをデスクトップ並のマシンとして利用できます。

●Auto-Negotiation対応だから10Mbps⇔100Mbps自動切り替え

Auto-Negotiation(オートネゴシエーション)機能により、接続先の伝送速度を自動的に判断、10Mbpsか100Mbpsか適切な伝送速度を実現します。また、詳細設定により伝送速度の固定も可能です。

●プラグ&プレイで簡単設定

本製品はWindows95のプラグ&プレイに対応しています。システムが本製品を認識すると自動的にセットアップが開始され、画面に表示されるメッセージに従ってドライバのインストールやネットワーク設定を行うだけで、すぐに使用できるようになります。IRQなどのむずかしいハードウェア設定を意識する必要はありません。

●PCMCIA Type II、活線挿抜に対応

本製品はPCMCIA規格Type II に準拠しています。PCMCIA Type II またはType III に準拠したPCカードスロットで使用できます。また、Windows95などでサポートされている「活線挿抜」に対応していますので、「活線挿抜」に対応した環境では、コンピュータの本体の電源を入れたまま、本製品の抜き差しが可能です。

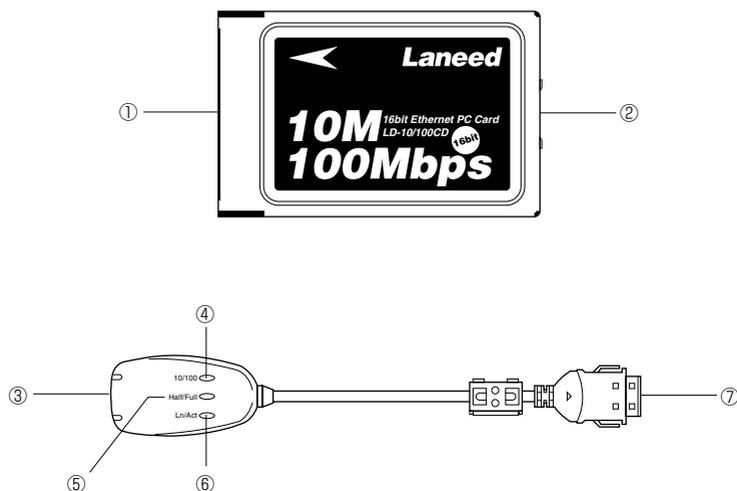
●各種ネットワークOSに対応

Windows95、WindowsNT4.0/3.51などのOSに加え、NetWare4.11J、NetWare4.10J、NetWare3.12JのNetWare各クライアント版やMs-LanmanagerなどのネットワークOSにも対応します。また、NDISやODIといったネットワークドライバも付属します。

動作環境について

本製品の動作環境は次のとおりです。

対応機種	PC/AT互換機(DOS/V)、NEC PC98-NX、NEC PC-9800シリーズでPCカードスロット(PCMCIA TYPE II)を持つ機種 ※ノートパソコンの最新の対応情報は、11ページに記載されていますラニード・ホームページまたはFAX情報サービスでご確認いただけます。
対応OS	Windows98、Windows95、WindowsNT4.0、WindowsNT3.51 NetWare4.11J、NetWare4.10J、NetWare3.12JのNetWare各クライアント版、Ms-Lanmanager



①	68ピンコネクタ	コンピュータのPCMCIA TYPE IIまたはTYPE III対応のPCカードスロットへ差し込むコネクタです。コネクタを指で触れないように注意してください。
②	15ピンコネクタ	メディアカブラの15ピンコネクタ側と接続します。コネクタを指で触れないように注意してください。
③	RJ45モジュラー ジャック(10BASE-T)	10BASE-TのRJ45モジュラーケーブルのプラグを差し込みます。
④	10/100 (LEDインジケータ)	100BASE-Tx環境に接続しているときに緑色に点灯します。
⑤	Half/Full (LEDインジケータ)	Full Duplex環境の状態のときに緑色に点灯します。
⑥	Ln/Act	リンクが確立されるときに緑色に点灯します。また、データを送受信しているときにも緑色に点灯します。データは断続的に送受信されますので、見かけ上は点滅しているように見えます。
⑦	15ピンコネクタ	イーサネットカード側の15ピンコネクタに差し込みます。

本製品の導入にあたっての注意事項と、導入後に使用するにあたっての注意事項を説明します。必ずこの項目をお読みになり、本製品を正しくお使いください。

導入時の注意事項

- ドライバのインストールにフロッピーディスクドライブが必要です**
本製品のドライバは付属のフロッピーディスクで供給されています。本製品のドライバをインストールするためにフロッピーディスクドライブが必要になります。
- Windowsオペレーションディスクが必要です**
WindowsオペレーションシステムのCD-ROMまたはフロッピーディスクが必要です。(インストールモデルなどハードディスクにすべてのオペレーションシステムがインストール済みの場合は不要です)
- Windows98/95でPCカードスロットがひとつしかない場合の注意点**
PCカードによるCD-ROMドライブを使用している場合、インストール中にCD-ROMドライブが使用できません。Windows98/95オペレーションシステムがCD-ROMの場合は、あらかじめ、Windows98なら"WIN98"(NEC PC-9801/9821では、"WIN98N")ディレクトリの内容を、Windows95なら"WIN95"ディレクトリの内容をすべてハードディスクにコピーしておいてください。(Windowsインストールモデルなど、ハードディスクにすべてのオペレーションシステムがインストールされている場合は、この作業は不要です。)

使用時の注意事項

- パワー管理機能について**
パワー管理機能を有効にしていると、PCカードスロットへの電源供給も停止されたため、本製品を使用することができません。必ずパワー管理機能は無効(OFF)にしてください。パワー管理機能の変更方法はコンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。
- 活線挿抜について**
本製品は「活線挿抜」に対応しています。Windows95などカードスロット用のドライバが「活線挿抜」に対応したコンピュータでは電源をONにしたままPCカードを抜き差しできます。ただし、取りはずすときに必要な操作があります。24ページ「取りはずすとき」をお読みになり、正しい手順で取りはずしてください。なお、WindowsNTは「活線挿抜」に対応していません。

●付属のテストプログラムを使用するときは...

付属のテストプログラムはDOS上で動作するため16bitカードサービスおよびソケットが必要です。詳しくは62ページ「14.16bitドライバの導入」をお読みください。

6

Windows98/95で使うときは [セットアップの前に]

Windows95で本製品を使う場合、セットアップの前にPCMCIAコントローラが正常に動作していることを確認する必要があります。画面例はWindows95ですがWindows98も同じです。

PCMCIAコントローラ(32ビットPCカードドライバ)を確認する

本製品をWindows98/95で使用するには、あらかじめPCMCIAコントローラ(32ビットPCカードドライバ)がインストールされている必要があります。次の手順で確認してください。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[システム]アイコンをダブルクリックします。

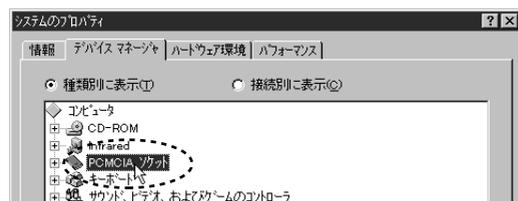


・〈システムの属性〉画面が表示されます。

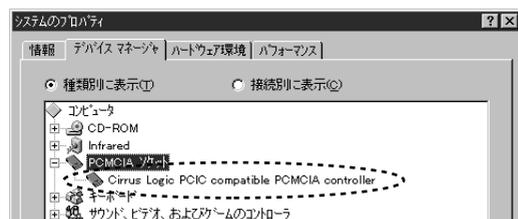
2 [デバイス マネージャ] タブを選択します。



・デバイスの一覧が表示されます。

3 [PCMCIA/ソケット]をダブルクリックします。

- ・ [+]が[-]に変わり、そのコンピュータにインストールされているPCMCIAコントローラが表示されます。

4 正常に動作しているかを確認します。

※表示されるPCMCIAコントローラ名はお使いのコンピュータによって異なります。

- ・ (!)や×が表示されているときは、正常に動作していません。

5 PCMCIAコントローラを選択した状態で、**プロパティ(P)**をクリックします。

- ・ プロパティが表示されます。

6 [デバイスの状態]で「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていることを確認します。

- ・ (!)や×が表示されているときは理由が表示されます。
- ・ 画面を閉じるには、コントローラのプロパティ画面で **OK** をクリックします。続いて、システムのプロパティ画面で **OK** をクリックします。

(!)や×が表示されているときやデバイスが競合状態にあるときは...

- ・ 次ページの「PCMCIAコントローラが正常に表示されないとき」をお読みになり、PCMCIAコントローラを再インストールしてください。

PCMCIAコントローラが正常に表示されないとき

(!)や×が表示されているときやデバイスの競合しているときは、正常に動作していません。次の手順でインストールし直してください。

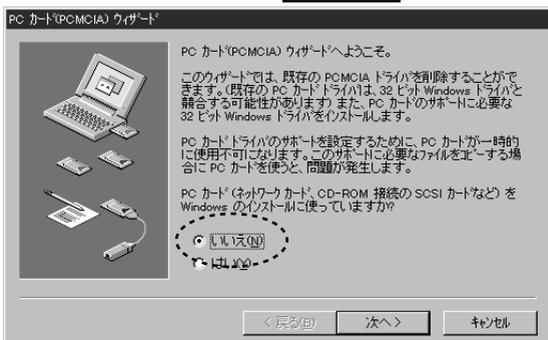
注意 プラグ&プレイに対応していないコンピュータでは、PCカードウィザードを自動的に起動させることができません。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[PCカード (PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。



・ <PCカード (PCMCIA)ウィザード> 画面が表示されます。

2 [いいえ]を選択した状態で、[次へ>] をクリックします。



・ 次の画面へ進みます。

3 [いいえ]を選択した状態で、[次へ>] をクリックします。

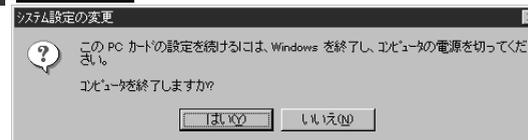


4 [完了] をクリックします。



・ 一度、Windows98/95を終了するか確認のメッセージが表示されます。

5 [はい] をクリックします。



・ 再度、コンピュータ本体の電源を入れます。

17ページの手順 **1** から始めて正常にインストールされているかを確認してください。

本製品をノートタイプのコンピュータに本製品を取り付ける方法とネットワークへの接続方法を説明しています。イーサネットカードの挿入方法やイジェクト方法は、本体の機種によって異なりますので、お手持ちのコンピュータ本体やカードスロットのマニュアルの該当ページを説明部分も参考にしてください。

取り付けの方法



必ずコンピュータ本体やカードスロットのマニュアルも併せて読みながら、取り付けてください。

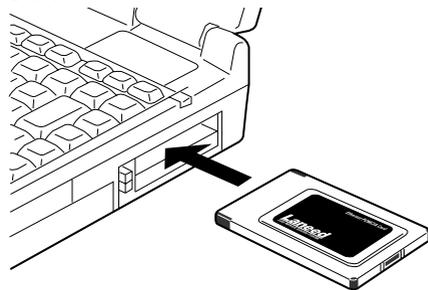


本製品の取り付けを始める前に、必ず金属に触れて身体の静電気を取り除いてください。

コンピュータ本体の電源がOFFになっていることを確認します。

本製品はWindows98/95の「活線挿抜」に対応しています。Windows95でコンピュータを使われる場合は、コンピュータの電源をONにした状態で本製品を差し込むことができます。

1 コンピュータのPCカードスロットに、本製品の68ピン側のコネクタを差し込みます。

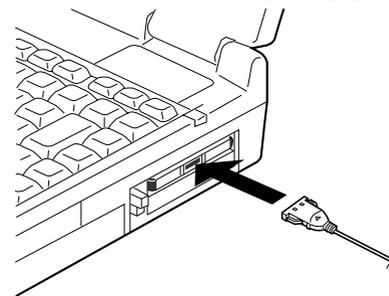


・うら・おもての向きを間違わないように注意してください。



カードを差し込むとき、向きを間違えると本製品のコネクタやコンピュータ側のコネクタを破損する恐れがあります。無理に差し込まないように注意してください。

2 本製品とメディアカブラの15ピンコネクタどうしを接続します。メディアカブラは15ピンコネクタに▲がある面を上にして接続してください。



・ツメがロックされ本製品とメディアカブラが固定されます。

3 メディアカブラのRJ45モジュラージャックにRJ45モジュラーケーブルのプラグを差し込みます。

・プラグをカチッと音がするまで、しっかりとジャックに差し込んでください。

取りはずしの方法

コンピュータのPCカードから本製品をイジェクトする方法は、コンピュータ本体によって異なりますので、コンピュータ本体のマニュアルの「PCカードスロット」に関するページを参照してください。なお、Windows98/95の活線挿抜により、コンピュータの電源を入れたまま、本製品を取りはずすときはPCMCIAソケットから切り離すための操作を行う必要があります。



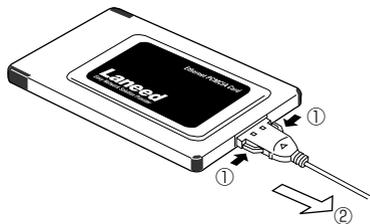
必ずコンピュータ本体やカードスロットのマニュアルを参照して取りはずしてください。



本製品の取りはずすときは、必ず金属に触れて身体の静電気を取り除いてください。

コンピュータ本体の電源が切れた状態での取りはずし

- 1 メディアカブラからRJ45モジュラーケーブルのプラグを抜きます。
- 2 コンピュータ本体のマニュアルの説明に従って、PCカードスロットから本製品を取りはずしてください。
- 3 本製品からメディアカブラをはずします。



・カブラ側のコネクタのツメを押しながら抜きます。

これで本製品の取りはずしは完了です。

コンピュータ本体の電源が入った状態での取りはずし (Windows95の活線挿抜)

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[PCカード(PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。



・〈PCカード(PCMCIA)のプロパティ〉画面が表示されます。

- 2 "Laneed LD-10/100CD Fast Ethernet PC Card"を選択し、終了(S)をクリックします。



・取りはずし可能のメッセージが表示されます。

- 3 OK をクリックします。



- 4 本製品をPCカードスロットから取りはずします。

このあとは、「コンピュータ本体の電源が切れた状態での取りはずし」と同じ手順で取りはずしてください。

本製品はWindows98のプラグ&プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、Windows98を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

コンピュータ本体などの電源を入れて、Windows98を起動します。

1 PCカードスロットに本製品を差し込みます。

・本製品の差し込み方法は、22ページ「取り付けの方法」をお読みください。

2 しばらくすると、新しいハードウェアを検出したことを知らせるメッセージが表示されます。

・そのまま、対応する新しいドライバを自動検出します。

3 必要なドライバが表示されます。[次へ>]をクリックします。



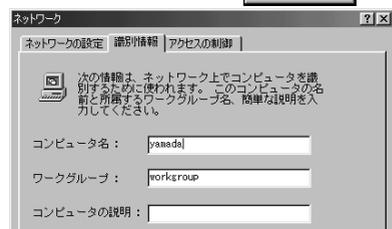
・検索方法を選択する画面が表示されます。

MEMO

コンピュータ名、ワークグループ名の入力を促されたとき

①[コンピュータ名]の入力を促すメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

②【ユーザー情報】タブで[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を入力してください。入力が終われば [閉じる] をクリックします。



コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザーの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ	インストール中のコンピュータが接続されるネットワークのグループ名をつけます。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

4 [特定の場所にあるすべてのドライバー一覧を...]を選択して、[次へ>]をクリックします。



・デバイスの種類を選択する画面が表示されます。

5 一覧から[ネットワークアダプタ]を選択し、[次へ>]をクリックします。

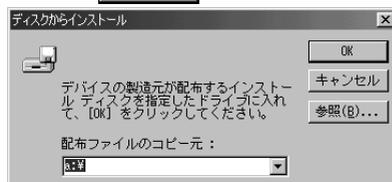


・〈デバイスの選択〉画面が表示されます。

6 フロッピーディスクドライブに、本製品に付属のフロッピーディスクを入れます。

7 ディスク使用(H)... をクリックします。

・〈ディスクからインストール〉画面が表示されます。

8 表示されているドライブ名がフロッピーディスクドライブであるかを確認し、正しければ **OK** をクリックします。

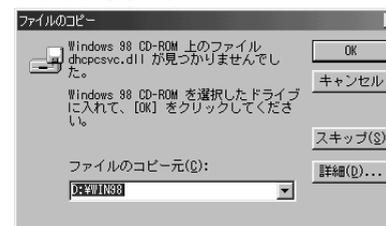
- ・[配布ファイルのコピー元]がフロッピーディスクを入れたドライブと異なる場合は変更します。
- ・〈デバイスの選択〉画面が表示されます。

9 "Lanecd LD-10/100CD Fast Ethernet PC Card"を選択し、**OK** をクリックします。

・ドライバファイルの検索画面が表示されます。

10 **次へ>** をクリックします。**11-1** お使いの環境によっては、Windows98のCD-ROMを挿入するようにメッセージが表示されます。

- ・この場合は、Windows98のCD-ROMディスクをCD-ROMドライブに挿入し、**OK** をクリックします。
- ・〈ファイルのコピー〉画面が表示されます。

11-2 表示されているドライブ名とディレクトリ名を確認し、正しければ **OK** をクリックします。

- ・[ファイルのコピー元]がCD-ROMを入れたドライブと異なる場合は変更します。

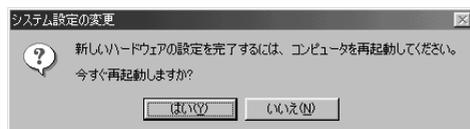
MEMO

PC/AT互換機(DOS/V)の場合は、ドライブ名のあとに"WIN98"ディレクトリを指定してください。NEC PC-9801/9821の場合は、ドライブ名のあとに"WIN98N"ディレクトリを指定してください。
(例)CD-ROMドライブがDドライブの場合

d:\¥WIN98

12 ドライバのコピーが終了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。

- ・ **完了** をクリックします。

13 再起動を促すメッセージが表示されます。フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出します。

- ・ **はい** をクリックします。

14 再起動すると、ネットワークへのログオン画面が表示されます。

- ・ [ユーザー名]は必ず入力します。
- ・ 必要であれば、[パスワード]を入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

これで、Windows98への本製品の導入は完了です。このあと、お使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加および変更してください。

39ページからWindows98/95のピア・ツー・ピアでの設定例を説明していません。参考にしてください。

Windows95でのセットアップ方法について説明します。

注意

Windows95でPCカードスロットがひとつしかない場合の注意点

PCカードによるCD-ROMドライブを使用している場合、インストール中にCD-ROMドライブが使用できません。Windows95オペレーションシステムがCD-ROMのときは、あらかじめWindows95 CD-ROMにある"¥win95"ディレクトリのすべての内容をハードディスクにコピーしておいてください。(インストールモデルなどハードディスクにすべてのオペレーションシステムがインストール済みの場合は不要です)

コンピュータ本体の電源を入れて、Windows95を起動します。

- 1 PCカードスロットにPCカードを差し込みます。
 - ・ PCカードの差し込み方法は22ページ「取り付けの方法」をお読みください。

- 2 しばらくすると新しいハードウェアを検出したことを知らせるメッセージが表示されます。
 - ・ Windows95のバージョンによって画面AまたはBが表示されます。

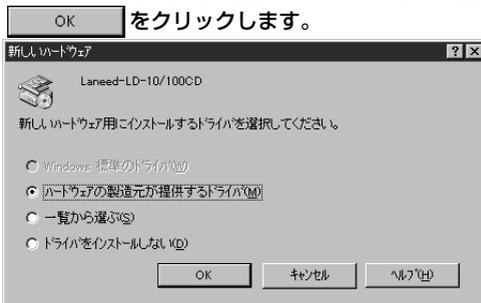
画面A**画面B (Windows95 OSR2)**

画面Aのとき ⇒ 次ページの **A1** へ進んでください。

画面Bのとき ⇒ 33ページの **B1** へ進んでください。

画面Aのときのインストール手順

A1 「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」が選択されていることを確認して、

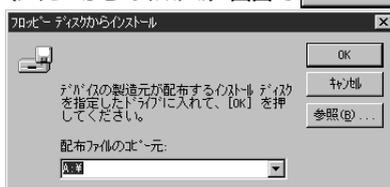


・〈プロット-からのインストール〉画面が表示されます。

A2 フロッピーディスクドライブに、本製品に付属のフロッピーディスクを入れます。

- ・ PC/AT互換機(DOS/Vマシン)、NEC PC98-NXの場合は、「PC/AT用」のディスクを入れます。
- ・ NEC PC-9800(PC-9821)シリーズの場合は、「NEC PC-9800用」のディスクを入れます。

A3 〈プロット-からのインストール〉画面で **OK** をクリックします。



- ・ [配布先ファイルのドライブ]のドライブ表示がフロッピーディスクドライブと異なる場合は変更してください。
- ・ ドライバのインストールが始まります。

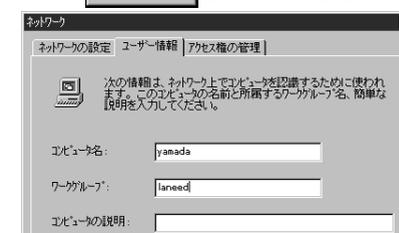
MEMO

インストール中のコンピュータで初めてネットワークの導入をしたとき

①[コンピュータ名]などの入力を促すメッセージが表示されますので、**OK** をクリックします。



②【ユーザー情報】タブで[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を入力してください。入力が終われば **閉じる** をクリックします。



コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザーの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ	インストール中のコンピュータが接続されるネットワークのグループ名をつけます。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

このあとは、36ページ **3-1** へ進んでください。

画面Bのときのインストール手順 (Windows95 OSR2の場合)

B1 フロッピーディスクドライブに、本製品に付属のフロッピーディスクを入れます。

- ・ PC/AT互換機(DOS/Vマシン)、NEC PC98-NXの場合は、「PC/AT用」のディスクを入れます。
- ・ NEC PC-9800(PC-9821)シリーズの場合は、「NEC PC-9800用」のディスクを入れます。

B2 フロッピーディスクを挿入したら、**次へ>**をクリックします。

- ・フロッピーディスクのドライバを自動的に検索します。

B3 見つかったドライバ名として"Laneed LD-10/100CD Fast Ethernet PC Card"と表示されていれば、**完了**をクリックします。

- ・〈ディスク挿入〉のメッセージが表示されます。

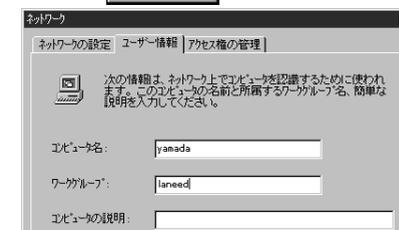
MEMO

インストール中のコンピュータで初めてネットワークの導入をしたとき

①[コンピュータ名]などの入力を促すメッセージが表示されますので、**OK**をクリックします。



②【ユーザー情報】タブで[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を入力してください。入力が終われば**閉じる**をクリックします。



コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザーの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ	インストール中のコンピュータが接続されるネットワークのグループ名をつけます。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

B4 〈ディスク挿入〉のメッセージが表示されたら、すでにディスクは入っているの**OK**をクリックします。

- ・〈ファイルの北へ〉画面が表示されます。

B5-1 「ファイルのコピー元」をフロッピーディスクドライブのドライブ名に変更します。

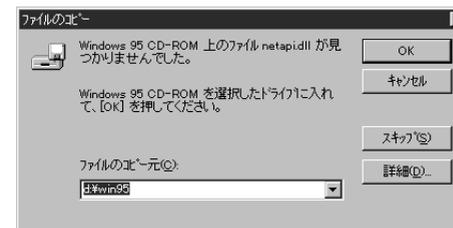
- ・通常、フロッピーディスクドライブはPC/ATの場合はAドライブです。NEC PC-9800の場合は、ご使用の環境により変化します。 **詳細(D)...** をクリックするとドライブの一覧から選択できます。

B5-2 ドライブ名を変更したら **OK** をクリックします。

- ・ドライバのインストールが始まります。次の **3-1** へ進んでください。

3-1 お使いの環境によって、Windows95のディスクを挿入するようにメッセージが表示されることがあります。

- ・この場合は、Windows95のCD-ROMまたはフロッピーをドライブに挿入し、 **OK** をクリックします。
- ・〈ファイルのコピー〉画面が表示されます。

3-2 「ファイルのコピー元」でドライブ名とディレクトリ名が正しければ、 **OK** をクリックします。

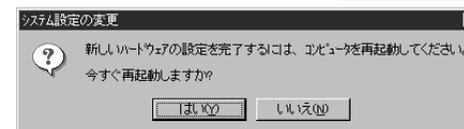
- ・ディスクを挿入したドライブ名およびディレクトリ名が異なる場合は、直接ドライブ名とディレクトリ名を入力するなどして変更してください。変更後、 **OK** をクリックします。

MEMO CD-ROMの場合はドライブ名のあとに"win95"ディレクトリを指定します。
(例)CD-ROMドライブがDドライブの場合

d:\>win95

Windows95インストールモデルで、出荷時のまま"WINDOWS\OPTION\CAB"ディレクトリの内容を削除していないときは、このディレクトリから必要なファイルをコピーできます。

注意 ファイルによっては、すでにインストール先に最新ファイルが存在する場合があります。同名ファイルが見つかった場合は、最新のファイルを使用するようにしてください。

4 ドライバのコピーが終了すると、再起動しますかというメッセージが表示されます。フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出します。

- ・ **はい(Y)** をクリックします。

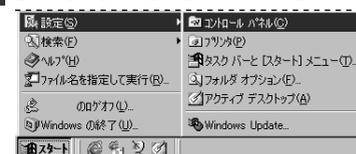
5 再起動すると、ネットワークへのログオン画面が表示されます。

- ・ [ユーザー名] は必ず入力します。
- ・ 必要であれば、[パスワード] を入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

これで、本製品への導入は完了です。このあと、お使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワーク設定を追加および変更してください。

次のページからWindows98/95のピア・ツー・ピアでの設定例を説明しています。参考にしてください。

ここでは、Windows98およびWindows95のネットワークでよく利用されるピア・ツー・ピア環境の設定例を説明します。なお、画面例はWindows98を使用しています。

1 Windows98またはWindows95を起動しておきます。**2** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパネルを開きます。

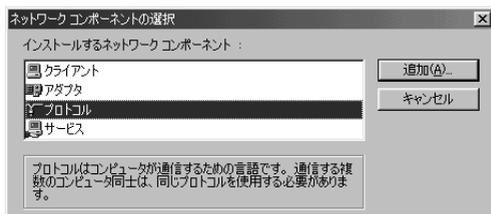
- ・ [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]の順に開いてもかまいません。
- ・ コントロールパネルが開きます。

3 [ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

- ・ <ネットワーク> 画面が表示されます。

4 [ネットワークの設定] タブにある [追加(A)...] をクリックします。

- ・ <ネットワーク構成ファイルの追加> 画面が表示されます。

5 [プロトコル]を選択します。

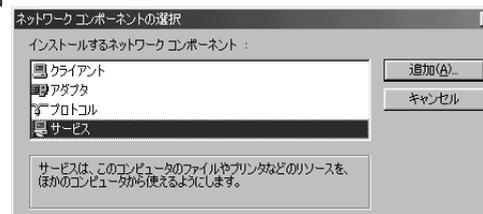
- ・ [プロトコル]を選択し、 **追加(A)...** をクリックします。
- ・ <ネットワークプロトコルの選択> 画面が表示されます。

6 NetBEUIを選択します。

- ・ [製造元]で"Microsoft"をクリックします。プロトコルが表示されます。
- ・ "NetBEUI"を選択します。
- ・ 続いて **OK** をクリックします。

7 プロトコルが追加されました。確認してください。

- ・ [現在のネットワークコンポーネント(構成)]に"NetBEUI"が追加されます。

8 サービスを選択します。

- ・ [サービス]を選択し、 **追加(A)...** をクリックします。
- ・ <ネットワークサービスの選択> 画面が表示されます。

9 サービスの内容を選択します。

- ・ Windows95では、まず[製造元]で"Microsoft"を選択します。[ネットワークサービス]の内容が表示されます。
- ・ "Microsoftネットワーク共有サービス"を選択します。
- ・ 続いて **OK** をクリックします。

10 サービスが追加されました。確認してください。

- ・ [現在のネットワーク構成]に"Microsoftネットワーク共有サービス"が追加されています。

11 次に[ファイルとプリンタの共有]をクリックします。

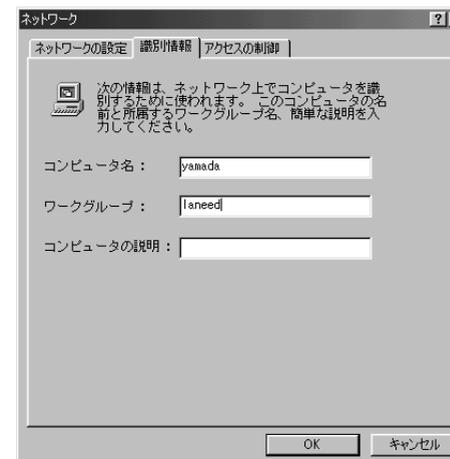
- ・〈ファイルとプリンタの共有〉画面が表示されます。

12 "ファイルを共有..." "プリンタを共有..."のチェックボックスを、両方ともチェック します。

- ・ をクリックします。

13 【識別情報】タブ(Windows95では【1-ユーザー情報】タブ)をクリックします。

- ・〈識別情報(ユーザー情報)〉画面が表示されます。

14 内容を確認し、変更が必要な場合は[コンピュータ名]と[ワークグループ]を入力します。

- ・ 項目の意味については、26ページを参照してください。
- ・ をクリックします。

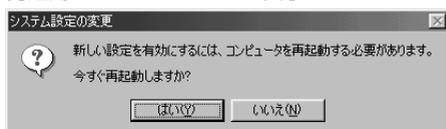
ディスク挿入を促すメッセージが表示されたときは、ディスクを挿入します。



- ・ Windows98では"Windows98 CD-ROM"を挿入します。
- ・ Windows95では"Windows95 CD-ROM"またはフロッピーディスクのいずれかのディスクを挿入します。
- ・ をクリックします。

MEMO

ディスクを挿入したドライブを指定する画面が表示されたときは、37ページの **3.2** を参考に指定します。Windows98では"WIN98"ディレクトリを指定してください。(NEC PC-9801/9821では"WIN98N"ディレクトリを指定)

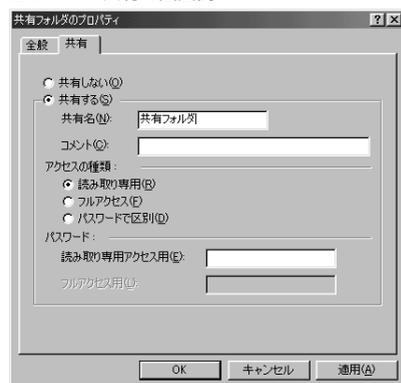
15 再起動するかメッセージが表示されます。

- ・ **はい(Y)** をクリックします。

再起動すると、今回設定した内容が有効になります。**MEMO**

ファイルやプリンタを共有するには、ネットワークが有効になってから次の手順で共有設定を行ってください。

- ①共有したいファイルのあるフォルダやプリンタのアイコンを右クリックで選択し、メニューを表示します。
- ②メニューから**[共有]**を選択し、必要な事項を設定します。

■ファイル共有の画面例

11 WindowsNT4.0でのセットアップ

すでにWindowsNT4.0がインストールされた状態で、本製品をセットアップする方法を説明しています。お使いになるコンピュータのシステムにネットワーク設定が存在するかないかでセットアップの流れが異なりますので、説明と表示される画面に注意しながらセットアップしてください。

注意

WindowsNT4.0のインストールと同時にセットアップするとき
WindowsNT4.0はインストール中にネットワークアダプタの設定が可能です。WindowsNT4.0オペレーションシステムのマニュアルを参照しながら、このマニュアルの46ページ手順**6**～**10**を参考にインストールしてください。ドライバの選択では、"Lanead LD-10/100CD Fast Ethernet PC Card"を選択してください。ネットワーク設定に必要なプロトコル、サービスなどはネットワーク管理者の指示に従ってください。

1 コンピュータ本体の電源を入れる前に、PCカードスロットに本製品を取り付けておきます。

1 コンピュータ本体の電源を入れて、WindowsNT4.0を起動します。

- ・ WindowsNT4.0へのログオン画面が表示されます。
- ・ **[Ctrl]**、**[Alt]**、**[Del]** の3つのキーを同時に押します。

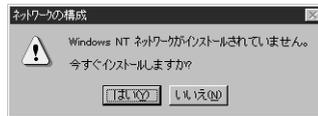
2 "Administrator"でログオンします。

- ・ WindowsNT4.0が起動します。

3 [スタート]→[設定]→[コントロール ね]を選択し、〈コントロール ね〉ウィンドウで、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

4 既存の環境によって画面AまたはBが表示されます。

■画面A



画面Aのとき

⇒ このあとの手順 **5** へ
進んでください。

■画面B

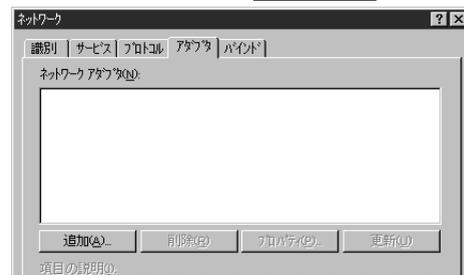


画面Bのとき

⇒ このあとのMEMOを読んで
から48ページの手順 **8** へ進
んでください。

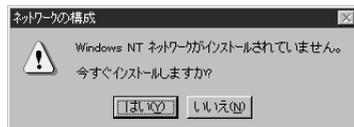
MEMO

【アダプタ】タブを選択し、**追加(A)...** をクリックします。



- ・ <ネットワークアダプタの選択> 画面が表示されます。
- ・ 48ページの手順 **8** へ進んでください。

5 そのシステムにはじめてネットワークを導入するときにこの画面が表示されます。



- ・ **はい(Yes)** をクリックします。

6 [ネットワークに接続]をチェックし、**次へ(N) >** をクリックします。



- ・ アダプタの選択画面が表示されます。

7 **一覧から選択(S)...** をクリックします。



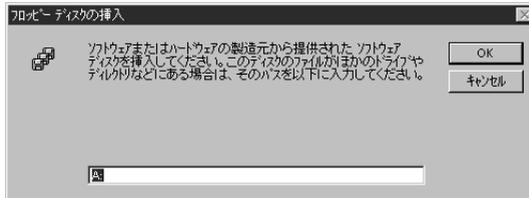
- ・ <ネットワークアダプタの選択> 画面が表示されます。

8 ディスク使用(D)... をクリックします。

・ <フロッピーディスクの挿入> 画面が表示されます。

9 フロッピーディスクドライブに本製品に付属のドライバディスクを挿入します。

- ・ PC/AT互換機(DOS/Vマシン)、NEC PC98-NXの場合は、「PC/AT用」のディスクを入れます。
- ・ NEC PC-9800(PC-9821)シリーズの場合は、「NEC PC-9800用」のディスクを入れます。

10 フロッピーディスクドライブのドライブ名を確認し、OK をクリックします。

- ・ 表示されているドライブ名がフロッピーディスクドライブと異なる場合は変更します。
- ・ <OEMオプションの選択> 画面が表示されます。

11 "Lanecd LD-10/100CD Fast Ethernet PC Card"を選択し、OK をクリックします。

・ はじめてネットワークを導入しているときはアダプタの選択画面に戻ります。

すでに一度ネットワークが設定されているとI/O Portなどを設定する詳細設定の画面が表示されます。その場合は、55ページ「ネットワークが設定されているときの手順」へ進んでください。

12 [ネットワークアダプタ]に、"Lanecd LD-10/100CD Fast Ethernet PC Card"が表示され、 チェックされている場合は、次へ(N) > をクリックします。

・ ネットワークプロトコルを選択する画面が表示されます。

- 13** ネットワークで使用するプロトコルを一覧でチェックします。チェックが終われば、**次へ(N) >** をクリックします。



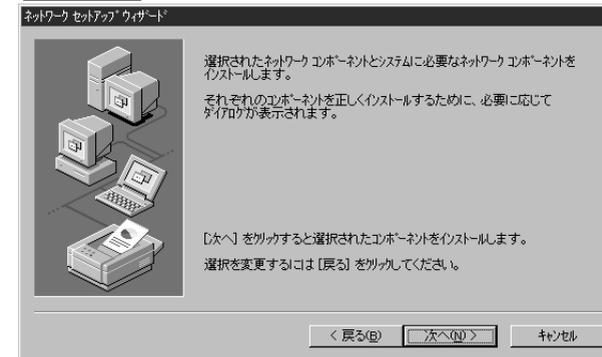
- ・どのプロトコルを使用するかは、ご使用になるネットワーク環境に合わせてお選びください。
- ・ネットワークサービスを選択する画面が表示されます。

- 14** ネットワークで使用するサービスを一覧でチェックします。チェックが終われば、**次へ(N) >** をクリックします。



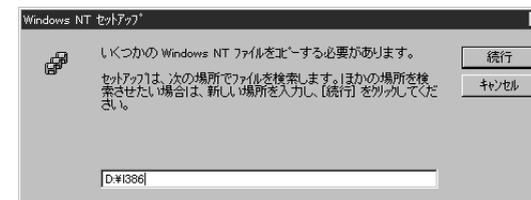
- ・どのサービスを使用するかは、ご使用になるネットワーク環境に合わせてお選びください。

- 15** プロトコルおよびサービスのインストールを確認する画面が表示されます。**次へ(N) >** をクリックします。



- ・インストールファイルのドライブ名とディレクトリ名を指定する画面が表示されます。

- 16** WindowsNT4.0のネットワークオペレーションディスクのドライブ名とディレクトリ名を指定します。

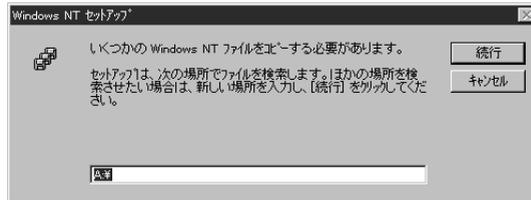


- ・PC/AT互換機およびNEC PC98-NXはWindowsNT4.0のネットワークオペレーションディスクで"I386"を指定します。
- ・NEC PC-9800(PC-9821)の場合は、"PC98"ディレクトリを指定します。
- ・CD-ROMからインストールするときは、WindowsNT4.0のディスクをドライブに入れます。

- 17** 指定が終われば、**続行** をクリックします。

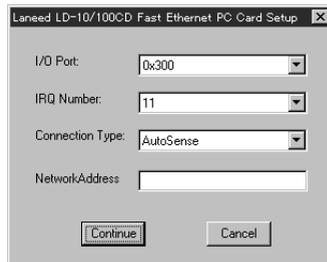
- ・もう一度、インストールファイルのドライブ名とディレクトリ名を指定する画面が表示されます。

18 今度は、フロッピーディスクドライブを指定し、**続行** をクリックします。



・ 詳細設定の画面が表示されます。

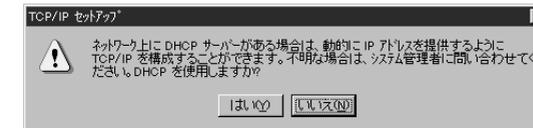
19 必要に応じて設定内容を変更します。



I/O Port	I/Oポートアドレスを設定します。自動的に空きアドレスに割り当てられているので通常は変更の必要はありません。
IRQ Number	IRQを設定します。自動的に空き番号に割り当てられているので通常は変更の必要はありません。
Connection Type	接続環境を設定します。通常はAutoSenseで変更の必要はありません。 AutoSense: 接続環境を自動判別します。 100BaseTx: 100BASE-TX環境で使用する場合に選択します。 10BaseT Full_Duplex: 10BASE-T環境で接続相手がFull Duplexに対応している場合に選択します。 10BaseT: 10BASE-T環境でHalf Duplexに対応している場合に選択します。
Network Address	本製品を2枚以上お使いの場合などに、本製品のNode ID(MACアドレス)を入力します。Node ID(MACアドレス)は本製品の裏面に記載されている16進数の数字です。 Node ID: 0080C8 844084 ←この数字です(数字は異なります)。

20 設定が終われば、**Continue** をクリックします。

プロトコルでTCP/IPを選択した場合は、DHCPを使用するか、選択の画面が表示されます。



・ ご利用になるネットワーク環境に合わせて、**はい(はい)** または **いいえ(いいえ)** をクリックします。
・ バインド等を変更するための画面が表示されます。

21 必要に応じて内容を変更します。よろしければ **次へ(N) >** をクリックします。



・ ネットワークの導入が完了したことを知らせるメッセージが表示されます。

22 **次へ(N) >** をクリックします。



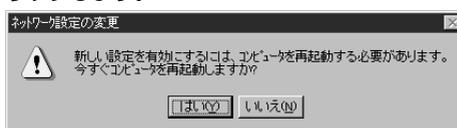
・ ワークグループ名などを設定する画面が表示されます。

23 必要に応じて入力し、**次へ(N) >** をクリックします。

・インストール完了のメッセージが表示されます。

24 **完了** をクリックします。

・再起動のメッセージが表示されます。

25 フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、**はい(Y)** をクリックします。

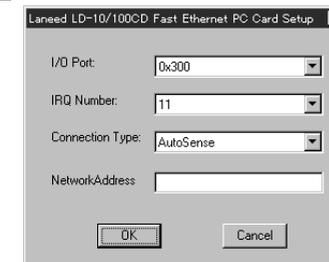
・WindowsNT4.0が再起動します。

これで、本製品のWindowsNT4.0への導入は完了です。

ネットワークが設定されているときの手順

すでにネットワークが設定されている環境へ本製品のドライバをインストールしたとき49ページ手順**11**の続きを説明します。

49ページの手順**11**の〈OEMオプションの選択〉画面で、"Laneed LD-10/100CD Fast Ethernet PC Card"を選択し、**OK** をクリックすると、ドライバの詳細設定画面が表示されます。

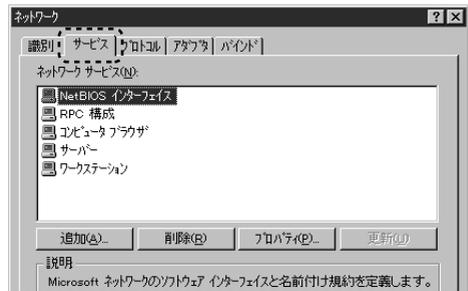
12 必要に応じて設定内容を変更します。設定が終われば、**OK** をクリックします。

※項目の内容については、52ページの手順**19**を参照してください。

・〈ネットワーク〉画面に戻ります。

13 ネットワークタブ外にLaneed LD-10/100CD Fast Ethernet PC Cardと表示されていれば、ドライバのインストールは完了です。

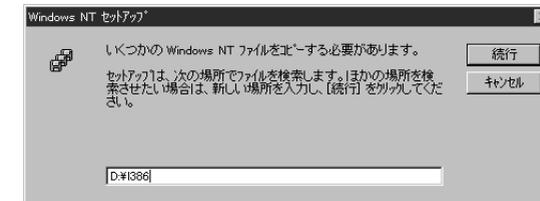
続いて、必要なネットワーク環境の設定を行います。このあとは、設定の流れを説明します。実際の構成に合わせて設定してください。

14 【サービス】 タブをクリックして、必要なサービスを追加します。**15** 【プロトコル】 タブをクリックして、必要なサービスを追加します。**16** すべての設定が終われば、〈ネットワーク〉画面の **閉じる** をクリックします。

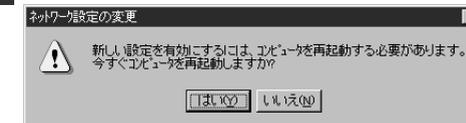
- ・ファイルのコピーが始まります。

WindowsNT4.0のオペレーションシステムのCD-ROMを要求された場合、PC/AT互換機およびNEC PC98-NXのときは、WindowsNT4.0の"I386"ディレクトリを指定し、**続行** をクリックします。

NEC PC-9800(PC-9821)のときは"PC98"ディレクトリを指定します。



- ・ハードディスクにインストールしているときは、インストール先のドライブ、ディレクトリ名を指定してください。

17 ファイルのコピーのあと、再起動のメッセージが表示されます。

- ・フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、**再起動** をクリックします。
- ・WindowsNT4.0が再起動し、設定した内容が有効になります。

これで、WindowsNT4.0へのセットアップは終わりです。

Windows98/95とWindowsNT4.0におけるアダプタのプロパティについて説明します。デフォルトは、一般的に最適な状態に設定されていますので、特に変更の必要はありません。

Windows98/95の場合

- ① [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- ② <ネットワーク> 画面の【ネットワークの設定】タブで"LANEED LD-10/100CD Fast Ethernet PC Card"を選択し、[プロパティ]をクリックします。
- ③ 【詳細設定】タブをクリックすると、設定画面が表示されます。

■ <詳細設定> の画面

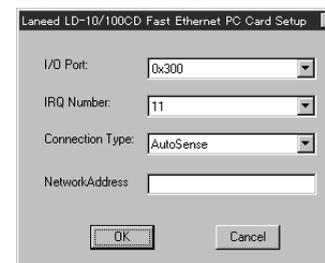


Connection Type	100BaseTx: 100BASE-TX環境。 10BaseT: 10BASE-T(Half Duplex)環境。 10BaseT Full Duplex: 10BASE-T(Full Duplex)環境。 AutoSense: 接続環境を自動判別します。
Network Address	本製品を2枚以上お使いの場合などに、本製品のNode ID(MACアドレス)を入力します。Node ID(MACアドレス)は本製品の裏面に記載されている16進数の数字です。 Node ID: 0080C8 844084 ←この数字です(数字は異なります)。

WindowsNT4.0の場合

- ① [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- ② <ネットワーク> 画面の【アダプタ】タブで"LANEED LD-10/100CD Fast Ethernet PC Card"を選択し、[プロパティ]をクリックします。<詳細設定>の画面が表示されます。

■ <詳細設定> の画面



I/O Port	I/Oポートアドレスを設定します。自動的に空きアドレスに割り当てられているので通常は変更の必要はありません。
IRQ Number	IRQを設定します。自動的に空き番号に割り当てられているので通常は変更の必要はありません。
Connection Type	接続環境を設定します。通常はAutoSenseで変更の必要はありません。 AutoSense: 接続環境を自動判別します。 100BaseTx: 100BASE-TX環境で使用する場合に選択します。 10BaseT Full_Duplex: 10BASE-T環境で接続相手がFull Duplexに対応している場合に選択します。 10BaseT: 10BASE-T環境でHalf Duplexに対応している場合に選択します。
Network Address	本製品を2枚以上お使いの場合などに、本製品のNode ID(MACアドレス)を入力します。Node ID(MACアドレス)は本製品の裏面に記載されている16進数の数字です。 Node ID: 0080C8 844084 ←この数字です(数字は異なります)。

本製品のPC/AT互換機用ドライバディスクに添付されているテストプログラムはDOS上で動作するため、テストプログラムを使用するには、DOS上でPCカードが認識できるように16bitドライバが導入されている必要があります。なお、NEC PC-9800(9821)シリーズにテストプログラムは付属しません。また、NEC PC98-NXシリーズはDOSの動作を保証しませんので使用できません。

カードサービスとソケットサービスについて

PCカードをDOSで利用するには、Windows95やWindowsNTなどにインストールされている32bitのPCMCIAコントローラ(カードドライバ)とは別にソケットサービスおよびカードサービスと呼ばれる16bitドライバが必要です。これらは、DOSに標準で装備されているものではなく、コンピュータ本体の付属品として添付されています。そのため複数のメーカーのソケットサービスおよびカードサービスが存在し、ドライバの設定内容もドライバやコンピュータ本体によって異なります。このあとの説明でPC-9800シリーズとPC/AT互換機に分けて、16bitドライバの導入方法の概要を説明します。

注意 ご使用になるコンピュータ本体に付属するマニュアルを用意いただき、PCカードスロット用16bitドライバの導入方法についての説明ページ読んで正しく設定してください。

NEC PC-9800シリーズの場合

NEC PC-9800シリーズで本製品をDOS上で使用するには、ソケットサービスとカードサービスが同時に設定されている必要があります。ソケットサービスのみコンピュータ本体に標準で添付されているモデルでは、日本電気株式会社より別売されている「PCカードサポートソフトウェア」をご用意ください。なお、ソケットサービスしか添付されていないモデルはNEC PC-9821 NeおよびPC-9801 NX/C、NS/A、NL/R、Pです。詳しい設定方法は、必ず、コンピュータ本体のマニュアルやカードサービスなどのドライバのマニュアルを参照してください。

MEMO 付属のドライバディスクにある"inst_dos.txt"には、DOSにドライバのインストールする簡単な説明があります。そちらもほうも参照するようにしてください。

●NEC PC-9800シリーズでのconfig.sysの記述例

```
DEVICE=A:¥DOS¥EMM386.EXE /UMB /E=DC00-DFFF .....①
DEVICEHIGH=A:¥DOS¥SSDRV.SYS .....②
DEVICEHIGH=A:¥DOS¥CS.EXE .....③
DEVICEHIGH=A:¥DOS¥CSALLOC.EXE A:¥DOS¥CSALLOC.INI ..④
```

- ①拡張メモリーマネージャEMM386.EXEがDC000h番地からDFFFFh番地を使用しないように指定します。
- ②ソケットサービス SSDRV.SYS を組み込みます。
- ③カードサービス CS.EXE を起動します。
- ④資源管理ユーティリティ CSALLOC.EXEを起動し、資源管理ファイル CSALLOC.INI から情報を取得します。

PC/AT互換機の場合

拡張メモリーマネージャ"EMM386.EXE"がUMB領域にメモリウインドウを確保できるように、C8000h番地からCFFFFh番地を使用しないように設定します。設定方法をコンピュータ本体の仕様や付属しているカードサービス等のドライバのメーカーによって異なります。詳しい設定方法は、必ず、コンピュータ本体のマニュアルやカードサービスなどのドライバのマニュアルを参照してください。

MEMO 付属のドライバディスクにある"inst_dos.txt"には、DOSにドライバのインストールする簡単な説明があります。そちらもほうも参照するようにしてください。

●System Soft製Card Soft/Card Viewのconfig.sys記述例

```
DEVICE=C:¥HIMEM.SYS
DEVICE=C:¥EMM386.EXE RAM /X=C800-CFFF .....①
DEVICE=C:¥SS365SL.EXE .....②
DEVICE=C:¥CS.EXE .....③
DEVICE=C:¥CSALLOC.EXE C:¥CSALLOC.INI .....④
DEVICE=C:¥CARDID.EXE C:¥CARDID.INI
```

●IBM製"Play At Will"のconfig.sys記述例

```
DEVICE=C:¥HIMEM.SYS
DEVICE=C:¥EMM386.EXE RAM /X=C800-CFFF .....①
DEVICE=C:¥SSDOSAT.SYS .....②
DEVICE=C:¥IBMUDOSCS.SYS .....③
DEVICE=C:¥RMUDOSAT.SYS /MA=C800-CFFF
```

●Phoenix製"Card Manager Plus"のconfig.sys記述例

```

DEVICE=C:¥HIMEM.SYS
DEVICE=C:¥EMM386.EXE RAM /X=C800-CFFF .....①
DEVICE=C:¥PCMS.S.EXE .....②
DEVICE=C:¥PCMCS.EXE /ADDR=C8 .....③
DEVICE=C:¥PCMSCD.EXE /BEEP

```

- ①拡張メモリーマネージャEMM386.EXEがUMB領域にメモリウィンドウを確保します。C8000h番地からCFFFFh番地を使用しないように設定します。
- ②ソケットサービスを組み込みます。
- ③カードサービスを組み込みます。
- ④資源管理ユーティリティを組み込みます。

付属のドライバディスクには、DOS画面上から本製品が正常に動作しているかをチェックできるテストプログラムがあります。このマニュアルを読んでドライバをインストールしたが、エラーが頻繁に起きるときなど異常があった場合にご使用ください。

注意 テストプログラムを使用するには、PCカードをDOS上で認識できるようにカードサービス、ソケットサービスのような16bitドライバを導入する必要があります。詳しくは62ページ「12. 16bitドライバの導入」をお読みください。なお、このテストプログラムは、DOS専用です。Windows98/95、WindowsNT上では、ご使用になれません。また、NEC PC98-NXはDOSの動作を保証していませんので、ご使用になれません。

注意 すでに16bit版のネットワークOSを組み込んでいる場合、システム起動時にDOS画面上で[F8]を押して、起動モードを選択する画面を表示させます。"5. step-by-step confirmation"を選択し、本製品のネットワークドライバを組み込まずに起動させてください。

1 16bitドライバのソケットサービスおよびカードサービスが組み込まれた状態で、DOSを起動します。

2 付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブに入れます。

3 カレントドライブをフロッピーディスクドライブに変更します。

```

C:¥>a: [Enter]
A:¥>

```

- ・一般的にPC/AT互換機(DOS/V)はAドライブがフロッピーディスクドライブです。NEC PC-9801/9821はCドライブです。
- ・フロッピーディスクドライブが「Aドライブ」ならば、キーボードから [a] [↵] と入力し、[Enter]を押します。
- ・ドライブ名が"A"以外のときは、そのドライブ名に置き換えて入力してください。

4 キーボードから **d i a g** と入力し、**Enter** を押します。

```
C:\>diag [Enter] (一般的な例)
```

- ・テストプログラムが起動します。

5 起動画面が表示されますので **Enter** を押します。

- ・メニュー画面が表示されます。

6 画面左に現在の設定状況が、右にメインメニューが表示されます。

```

      ネット環境
CSベンダ ----- None
CS改訂 ----- None
ノードID ----- 00 80 C8 43 DA 2C
I/Oアドレス ----- 300
割り込み番号 ----- 11
コネクタタイプ ----- 100M Half

```

```

      メインメニュー
アダプタ診断テスト
ネットワーク診断

```

●カレント環境

CSベンダ	カードスロットサービスのベンダ名を表示します。
CS改訂	カードスロットサービスのバージョンを表示します。
ノードID	ノードIDを表示します。
I/Oアドレス	本製品が使用するI/Oポートアドレスを表示します。
割り込み番号	本製品が使用するIRQを表示します。
コネクタタイプ	本製品の接続環境の設定状態を表示します。

●メインメニュー

アダプタ診断テスト	本製品が正常に動作しているかを診断します。
ネットワーク診断	本製品を取り付けたコンピュータが2台以上あるときは、ネットワークが正常に動作しているかを診断できます。

アダプタ診断テスト、ネットワーク診断の内容については、このあとの項目をお読みください。

⇒ テストプログラムを終了するには

[Esc] を押すたびに、ひとつ前の画面に戻ります。〈メインメニュー〉画面が選択可能な状態で **[Esc]** を押すと、終了することができます。

●アダプタ診断テスト

〈メインメニュー〉で[アダプタ診断テスト]を行うと本製品が正常に動作しているかを診断することができます。

① 〈メインメニュー〉で[アダプタ診断テスト]を選択し、**Enter** を押します。

```

      メインメニュー
      アダプタ診断テスト
      ネットワーク診断

```

- ・テストが始まります。

② テスト結果が表示されます。

```

      アダプタ診断テスト
ノードID       : 00 80 C8 43 DA 2C
I/Oアドレス   : 300
割り込み番号  : 11
コネクタタイプ : 100M Half

      回数  1
ネット I/O アドレス ..... PASS
DC-DC変換、発振器、水晶 T213 ..... PASS
EEPROM ..... PASS
LAN ネットワークチップ ..... PASS
メモリ ..... Testing
ループバックモード ..... Unknown

```

- ・各項目とも"PASS"と表示されれば正常です。"FAIL"と表示される場合はそのテスト項目に異常があると考えられます。69ページ付録「こんなときは」をお読みください。
- ・ **[Esc]** を押すと、テストを終了して 〈メインメニュー〉に戻ります。

●ネットワーク診断

[ネットワーク診断]を選択すると、ネットワークの診断テストを行います。このテストを行うには、本製品を取り付けたコンピュータが2台必要です。この2台を10BASE-Tまたは100BASE-TXケーブルでHUBを介して接続します。マスター側とスレーブ側を設定して同時にテストを実行してください。

① 〈メインメニュー〉で[ネットワーク診断]を選択し、**Enter** を押します。

```

      メインメニュー
      アダプタ診断テスト
      ネットワーク診断

```

- ・マスターとスレーブを選択する画面が表示されます。

- ②設定中のコンピュータをマスターにするか、スレーブにするかを選択します。

ネットワーク診断
マスターとして動作する
スレーブとして動作する

- ・相手側のコンピュータは、設定中のコンピュータと逆の設定にします。

- ③設定が終われば **[Enter]** を押します。

- ・診断テストが始まります。
- ・ **[Esc]** を押すと、診断テストを終了します。

```

スレーブステーション
ノート アドレス :00 80 C8 43 DA 2C
I/O ベース アドレス:300      テスト スタート : 23:33:48
割り込み番号   :11          現在時間       : 23:34:14
コネクタタイプ :100M Half

発信バケット長 ..... 864
発信バケットカウンター ..... 3784
発信タイムアウトカウンター ..... 0

受信バケット長 ..... 864
受信バケットカウンター ..... 3784
受信タイムアウトカウンター ..... 0
応答なしカウンター ..... 0
データ不一致カウンター ..... 0

```

①	発信バケット長	送信したパケットの長さ
②	発信バケットカウンター	送信したパケットの数("10000"で終わり)
③	発信タイムアウトカウンター	タイムアウトしたパケット数
④	受信バケット長	受信したパケットの長さ
⑤	受信バケットカウンター	受信したパケットの数
⑥	受信タイムアウトカウンター	受信できなかったパケットの数
⑦	応答なしカウンター	送/受信できなかったパケットの数
⑧	データ不一致カウンター	データの長さが送信側と受信側で合わなかった数

※備考 ①はひとつずつ増えます。②は⑤+⑦の数値です。

- ・テストで異常があった場合は、次ページ付録「こんなときは」をお読みください。

共通のトラブル

- 本製品が正常に動作しない。
 - ① ドライバを正しくインストールしましたか。各環境でのトラブル項目もお読みください。
 - ② パワーマネージメント機能を有効にしていますか。有効にしているとPCカードスロットへの電源供給が止まります。
 - ③ 本製品をPCカードスロットの奥までしっかりと差し込んでいますか。コンピュータ本体のマニュアルを読んで、本製品をPCカードスロットに確実に差し込んでください。
- 本製品は正常に動作しているが、ネットワークが見えない。

本製品のカブラに接続されたケーブルはネットワークに接続されていますか。ケーブルとカブラ、カブラと本製品のコネクタがしっかりと接続されていますか。カブラのLED表示を見てLinkが確立されているかを確認してください。
- 診断プログラムを実行したが、画面が表示されない

PC98-NXで使用していませんか。PC98-NXはDOSの動作を保証していませんので、使用できません。

Windows98/95環境でのトラブル

- 本製品を差し込んで、新しいハードウェアが検出されない。
 - ① PCMCIAコントローラ(32bitカードドライバ)が動作していない可能性があります。特に16bitカードドライバが動作しているWindows3.1からWindows95に移行した場合に多い現象です。このマニュアルの17ページを読んでPCMCIAコントローラが正常に動作しているか確認してください。また、CONFIG.SYSにて16bitカードソフトの記述の文頭にremを入れることで新しいハードウェアが検出されるようになります。
 - ② **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の[デバイスマネージャ]**タブでチェックすると**[その他のデバイス]**に「Laneed-LD-10/100CD」として登録されていることが考えられます。確認してください。もし、登録されていれば、**[デバイスマネージャ]**から「Laneed-LD-10/100CD」を削除し、再起動してみてください。再起動後、新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、このマニュアルの26ページ(Windows98)、31ページ(Windows95)を読んでセットアップしてください。
- PCカードスロットがひとつしかないため、CD-ROMドライブが使えない。

セットアップを始める前に、Windows98/95システムソフトウェアのCD-ROMにある「WIN98」または「WIN95」ディレクトリの内容をすべてハードディスクにコピーしておきます(Windows98でNEC PC-9801/9821の場合は「WIN98N」ディレクトリ)。セットアップ中にWindows98/95CD-ROMを要求されたら、CD-ROMの代わりにハードディスク内の「WIN98(N)」または「WIN95」ディレクトリを指定してください。

- [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブでチェックすると【その他のデバイス】に「Laneed-LD-10/100CD」として登録されている。または、[コントロールパネル]の【PCカード】においても同様に表示される。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】より上記のデバイスを一度削除し、再起動してみてください。再起動後、新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、このマニュアルの26ページ(Windows98)、31ページ(Windows95)を読んでセットアップしてください。
- 起動画面にて「Laneed-LD-10/100CD? ...00xが正常に動作していない。」というようなエラーメッセージが表示される。
 - ① IRQおよびI/Oポートアドレスが競合している可能性があります。[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブで【PCMCIAリソース】にある「Laneed-LD-10/100CD...」のプロパティを開き、リソースを手動で設定し直してください。
 - ② [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブでチェックすると【その他のデバイス】に「Laneed-LD-10/100CD」として登録されていることが考えられます。確認してください。もし、登録されていれば、【デバイスマネージャ】から「Laneed-LD-10/100CD」を削除し、再起動してみてください。再起動後、新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、このマニュアルの26ページ(Windows98)、31ページ(Windows95)を読んでセットアップしてください。
- ドライバのインストール時に、ファイルのコピーが正しく行えなかった。
一度、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブで【PCMCIAリソース】にある「Laneed-LD-10/100CD...」ドライバを削除して、再起動後に新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、このマニュアルの26ページ(Windows98)、31ページ(Windows95)を読んでセットアップをやり直してください。
- ドライバは正常に動作しているが、ネットワークが見えない、使えない。
ケーブルが正しく接続されていないなどハードウェア的なトラブルはありませんか。また、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]でプロトコル、サービスなどが正しく設定されているかチェックしてください。ネットワークの設定は、ご使用になるネットワーク環境によって異なります。設定すべき内容がわからない場合は、ご使用になるネットワークのシステム管理者にお尋ねください。
- PCMCIAコントローラを自動インストールできないとき
プラグ&プレイに対応していないコンピュータの場合、PCMCIAコントローラを再インストールしようとしても、このマニュアルの20ページからの操作ではインストールできないことがあります。この場合は、[コントロールパネル]にある【ハードウェア】を起動し、ハードウェアウィザードで「PCMCIAコントローラ」を検出してください。検出された「PCMCIAコントローラ」を選択するとPCカードウィザードが表示されますので、20ページからの説明を参考にメッセージに従ってインストールを実行して下さい。

WindowsNT環境でのトラブル

- システム起動時にエラーが発生し、「イベントビューア」で確認するとデバイスの競合が確認された。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の【ネットワーク】で、本製品のプロパティを開き、他のデバイスと競合しないようにリソースの設定を変更してください。
- PCMCIAサービスが開始されていない。
ケーブルが正しく接続されていないなどハードウェア的なトラブルはありませんか。また、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]でプロトコル、サービスなどが正しく設定されているかチェックしてください。ネットワークの設定は、ご使用になるネットワーク環境によって異なります。設定すべき内容がわからない場合は、ご使用になるネットワークのシステム管理者にお尋ねください。

MS-DOS(PC-DOS)+Windows3.1環境でのトラブル

- NOSにドライバを組み込んでもLaneedカードが認識されない。
16Bitカードドライバが正常に動作していないことが考えられます。このマニュアルの62ページを読んで16bitカードドライバを組み込んでください。
- リソースが競合して正常に動作しない。
NetWareの場合は、NET.CFGにてリソースを設定してください。LanManagerの場合は、PROTOCOL.INIにてリソースを設定してください。その他のネットワークOS(NOS)の場合は、各NOSのマニュアルを参照してください。本製品のドライバディスクに付属のDFCD.EXE(NEC PC-9801/9821ではNFCD.EXE)を使って設定することも可能です。これらのプログラムの使いかたはドライバディスクのDOSインストールのReadmeファイルをお読みください。

ラニード製品のサポートサービスについては、下記のラニード・サポートセンターへお電話またはFAXでご連絡ください。また、FAX情報によるサービス、ネット上によるオンラインサービスも提供しています。なお、サポートセンターでサービスを受けるために、あらかじめ本製品に添付されているユーザ登録はがきをご投函くださいますようお願いいたします。修理品の送り先については、10ページをご覧ください。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3444-5571 FAX : 03-3444-8205

受付時間：月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)
※FAXによる受信は24時間行っております。

●インターネット

<http://www.elecom-laneed.com>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。
ガイドランスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東京：03-3940-6000 大阪：06-455-6000
名古屋：052-453-6000 福岡：092-482-6000
札幌：011-210-6000 仙台：022-268-6000
広島：082-223-6000

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

- ・このマニュアルの付録「こんなときは」をお読みになりましたか。まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。
- ・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
- ・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能な場合は、コンピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
- ・FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳しい内容をご記入ください。

次のことをお調べください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ:

使用しているOS:

使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番):

ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成:

ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等) :

●具体的な現象について

具体的な現象:

事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください):

基本仕様

MEMO

商品名	PCMCIA TYPE II 準拠 10/100Mbps対応 16bitイーサネットPCカード
製品型番	LC-10/100CD
メディアタイプ	10BASE-T, 100BASE-TX
伝送速度	10Mbps/100Mbps, フルデュプレックス対応
ケーブル規格	IEEE802.3標準/Ethernet Ver2.0
対応バス	PCMCIA TYPE II およびTYPE III
割り込みレベル	自動設定
I/Oポートアドレス	自動設定
LED	付属のメディアカブラによる表示 100M(緑:接続環境) FULL(緑:フル/ハーフデュプレックス) LINK(緑:リンクの確立) ACT(緑:データの送受信) COL(緑:コリジョン発生の有無)
適合規格	FCC Part15 Class B,CEマーキング,VCCI第二種情報処理装置基準
消費電力	2W
動作温度	動作時:0~55℃ 保管時:-20~80℃
動作湿度	10~90%(結露なきこと)
対応機種	PC/AT互換機(DOS/V)、NEC PC98-NX、 NEC PC-9800シリーズでPCカードスロット(PCMCIA TYPE II またはTYPE III) を持つ機種
対応OS	Windows98, Windows95, WindowsNT4.0, WindowsNT3.51 NetWare4.11J, NetWare4.10J, NetWare3.12JのNetWare各クライアント 版、Ms-Lanmanager
付属品	メディアカブラ、ドライバディスク(2枚)、ユーザズマニュアル、 ユーザ登録カード、保証書

各営業拠点のご案内

本 社	〒541-8765 大阪市中央区瓦町3-5-7大阪長銀ビル7F
大阪支店	〒541-8765 大阪市中央区瓦町3-5-7大阪長銀ビル10F TEL.06-229-2957(代) FAX.06-229-2729
東 京 エシユ-マ-支店	〒170-8765 東京都豊島区東池袋3-13-2住友不動産東池袋ビル5F TEL.03-5950-4531(代) FAX.03-5950-1409
東 京 システム支店	〒170-8765 東京都豊島区東池袋3-13-2住友不動産東池袋ビル5F TEL.03-5950-4131(代) FAX.03-5950-4133
札幌支店	〒060-0007 札幌市中央区北七条西13-9-1塚本ビル3F TEL.011-281-2450(代) FAX.011-281-2451
仙台支店	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-5-15日本生命仙台勾当台南ビル3F TEL.022-215-4411(代) FAX.022-215-4412
横浜支店	〒220-0004 横浜市西区北幸2-9-10横浜HSビル2F TEL.045-323-5971(代) FAX.045-323-5973
名古屋支店	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-19名古屋長銀ビル9F TEL.052-223-2531(代) FAX.052-223-2535
広島支店	〒730-0016 広島市中区鞆町13-11明治生命広島鞆町ビル7F TEL.082-228-5920(代) FAX.082-228-7620
福岡支店	〒812-0039 福岡市博多区冷泉町5-35福岡祇園第一生命ビル12F TEL.092-262-5858(代) FAX.092-262-2053
盛岡営業所	〒020-0022 盛岡市大通3-3-10七十七日生盛岡ビル7F TEL.019-653-0228(代) FAX.019-653-0227
高崎営業所	〒370-0828 高崎市宮元町38-10住友生命高崎ビル6F TEL.027-328-8861(代) FAX.027-328-8862
金沢営業所	〒920-0022 金沢市北安江1-3-24ピア金沢5F TEL.076-233-7046(代) FAX.076-233-7048
松山営業所	〒790-0001 愛媛県松山市一番町1-15-2住友生命松山一番町ビル6F TEL.089-921-5706(代) FAX.089-921-5537
熊本営業所	〒860-0806 熊本市花畑町1-1三井生命熊本ビル3F TEL.096-351-4711(代) FAX.096-351-4798

PCMCIA TYPE II 準拠 10/100Mbps対応 イーサネットPCカード
LD-10/100CD
ユーザーズマニュアル
発行 エレコム株式会社
1998年10月20日 第1版

LD-10/100CD

Lanecd

ELECOM